

あらかき通信



あらかき通信 第四回 2004年11月1日発行

(株) アラキ工務店

編集・発行 村上幸男

京都市右京区梅津高畝町52-2 〒615-0906

株式会社 アラキ工務店

TEL-075-882-8668

FAX-075-872-0223

ホームページ

<http://www.kyoto.zaq.ne.jp/araki/>

<http://www.kyoto-kozai.com/>

秋も深まり すごしやすくなってきました。

皆様おかわりありませんか



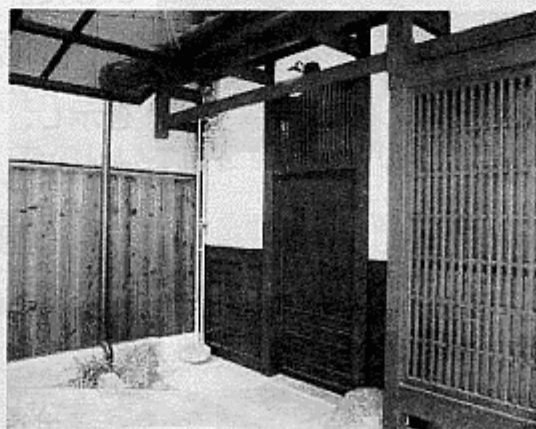
暑い夏を乗りきり、なんとか無事にすごせました。皆様はどうでしたか。私も、社員も、特に大きな事故や病気も無く、全員夏をすごすことが出来ました。

秋頃になれば、少し時間がとれて、紅葉や行楽にでも行けるかなと考えていたのですが、どうもそういう願いもかないそうになく、バタバタと走り回ることになりそうです。これはこれで有難い事なので、うれしく思っています。寒暖の差が大きいので、皆様お体に充分注意してお過ごし下さい。

ありがとうございました。

代表取締役 荒木 勇

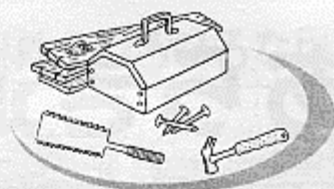
古い建具の再利用



◀ 出格子の完成写真です。縦棧のうち2本を左右にずらしたら、はずす事ができます。昔の仕事とおなじですね。

◀ 「町家の出格子を復活させよう」ということで、牛田君が製作しているところです。古い建具の残りを使い、幅の足りない部分を足しています。1から全部作るより利口でできるからです。

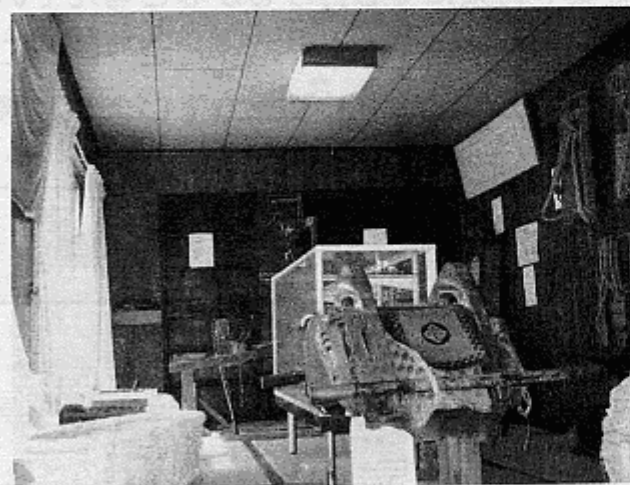
今こんな事をしています



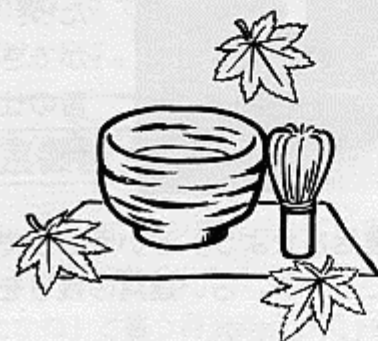
嵯峨の小、中学校で生徒さんと共同でリフォームをする



京都市北区嵯峨野のかなり北に位置する小、中学校で（児童数が少ないので小、中学校になっています）以前私共で新築をしたお客様から、このような企画を学校で行なうので手伝ってほしい。子供達が古い平屋建物の内部を自分達で改修し、自分達の使う室をつくるのに指導をたのむとの事でした。



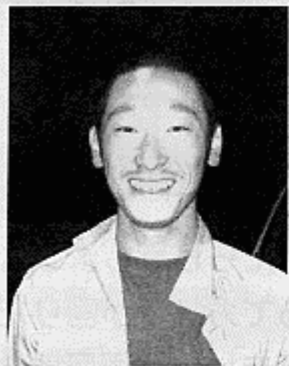
もちろん授業の内の時間で、カリキュラムのひとつにするという事で、こちらとしても出来るかどうか自信がなく、躊躇していましたが、先生方も全員で手伝うからとの事でとりかかる事にしました。第1回目は9月15日に解体を行いました。まず私共の大工が見本を示し、子供達で出来ることをしてもらいました。ケガをしないか、そればかり心配していたのですが、無事に第1回目が終り、ホッとしました。当然危険なところは私共で行ないましたが…。



子供達と一緒に汗を流して半日体を動かしていると結構おもしろくすごせました。次は10月末ごろの予定です。

岩手から京都に来て頑張っています

黒川 暢 聡
まさし



岩手で大工の修業をして5年たちましたが、何か物足りなくてあちこちさがしたり、悩んだりしていました。

あらきさんにお世話になって、もう1年半になります。ほん

とうになにかもかがあったという間でした。

昨年春、本当の大工になりたくて、岩手から単身で京都に来たのですが、何もかも新鮮で、毎日楽しく仕事をさせてもらってます。お施主さんの顔が見れる現場が多いのでやりがいもあります。

でも、まだまだ未熟で、先輩には怒られてばかりです。自分ができないんで仕方

ないんですが、とっても悔しいです。一日も早く一人前になって、大きい仕事を任せられるようになりたいです。

今では、嫁さんと子どもを岩手から呼んで一緒に暮らせるようになりました。子どもも2人目が生まれたので、責任重大です。「ほんまに頑張らんといかんわ〜」って思ってます！よろしくお願いします！

現場でも気軽に声をかけて下さい。宜しくお願いします。

来た時は大工の経験年数はあるのですが木を使う仕事が、あまりなかったもので、技術的な面ではまだまだでした。このところ努力しているので少しずつ身につけているようです。社長

(先輩の声) でもまだまだやで〜 黒チャン しっかりしてや。

秋は祭りの季節です

私の家と背中合せにある晴明神社のお祭りです。
村上

9月23日に神幸祭がありました。

私も子供もみこしの世話役をしていますのでついて歩きます。

4〜5時間巡行します。疲れますがおもしろいものです。本みこしも出てかつぎますので、とてにぎやかです。

いろいろな人々が参加して、たのしい1日をすごしました。



TVの撮影でキンチョーしました

今回は 足達宗凡 です

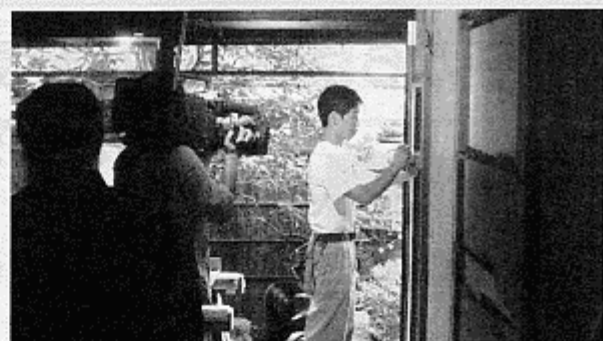


TV大阪の方から、柱についての色々な番組をつくるので、大工さんの仕事ぶりや話しを聞きたいとの要請があり、足達君の現場

や店で、TVの撮影を受けました。9月18日にオンエアされた「坂東英二のグッドスマイル」という番組です。

村上専務から『柱の埋木をすることでテレビで取材したい』との話があるので、「足達君たのむわな」と言われたんです。かなんなあと思いながら、当日テレビ局の方が来て、「それでは現場の作業風景から撮ります」と言われました。とにかくその辺の木を切ったり削ったり、仕事しているふりをしていたら、いろいろ考えすぎて、少しずつ緊張してきました。

「それでは柱の埋木を足達さんお願いします。」と言われ、手をたたいたら



どうしよう、失敗したらどうしようと思いました。うしろでカメラが回りだすと緊張は一気に高まり、鴨居目地や又キ穴などの簡単な埋木やのに、早く終わりたいとあせってしまいました。終わってほっとしていると、「インタビュー、お願いします」と言われ、適当に自分の思いを答えると、「そんな感じでもう一度」との事。まだかいなと思いながら答えると、さっきと少し違う事を言ってしまいました。今の良かったですね。今度はカメラに向かってお願いします」ハア～まだ終わらないの～。カメラに向かって言う時に又少し違った事を言ってしまったが、OKが出ました。何とテレビの取材って大変だなと思いつつ、これからもお施主さんに喜んでもらえる仕事をしていきたいと思いました。



〔このディレクターさん、作業を見ていてかなり感動されていましたよ。足達君！〕

第2回

「屋根瓦がイタんでますよ。みてみましょうか～」と営業が入ってくる

今回も、前回と似たような話ですが、お得意さんの奥さんから電話があり、雨漏りがしているらしいので、急がないが見てほしいと連絡がありました。

偶然にこの日の夕方にその奥さんの家に「瓦屋ですが～」と入ってきた人がいたのです。家の方はえらく早く来てもらったと喜んで、「アラキさんから聞いて下さったのネ」と言ったのですが、入ってきた者は「エ、エ～マ～」とはっきりと返事をしなかったそうです。家の方は疑いもせずに、見て下さいと返事をしたとの事。これまったく無関係な業者なのですが、あまりにタイミングが良かったので信じこんでしまわれました。おきまりの「瓦が一部ダメなのですぐ修繕しないと大変です」「じゃお願いします」と話しは進んで、かかり始めたのですが、屋根瓦を2～3坪めくったら、そのあとは少しも仕事をしない。そのうち、反対側もダメだ、下地枚も張り替えないと、とエスカレートするばかり。ここで初めておかしいと気づかれ、いつものアラキさんなら最初にキチンと説明があり、だいたいこれくらいの金額はかかりますと言っ

てもらえるのにといい、再度こちらに連絡が入り、「エ～、それはおかしい」となり、私と当時の専務が見に行きました。専務がカンカンになって、「キミ達は、奥さんがアラキさんから聞いてきた人かと言われた時、キチンと答えていないだろう。そんなやり方はもってのほかだ」と言っても、相手は「してくれと言われたからしているのだ」と引きません。結局いくらかの日当を支払い引取らせました。

その他によくあるのが、「近所で仕事をしているが、この家の瓦が悪いのが見えた」「今なら近所でやっているので安くします」という古典的なセールストークもいまだあちこちで聞きます。それでやってもらって、通常の2～3倍のお金を払ったとかも聞いてます。

皆さん注意して下さい。古くなってくれば修繕ややり替えは必然ですが、安心の出来るところにまずは相談して、納得のいく説明を聞いてからにして下さい。ほとんどの場合そんなにあわてなくても大丈夫ですから。

8月の研修で飛騨の檜を見て来ました



8月始め、飛騨にある国有林の見学及、間伐の体験をしてきました。主に桧、ヒバ、あすなろなど繁っている山に入り、営林署の人々の指導で桧の間伐をしました。皆大工なので木を切りだしたら手を休めずに次々と切っていきます。2時間近く、まるで現場での作業のようにこなしていきます。さすが職人集団と感心するやら、あきれられるやら。(かなりしんどかったと言っていました)

仕事以外のいろいろな用事

このところ、テレビや新聞、雑誌等の取材や撮影が多いです。

会長の「住まいは文化」は定期的に日本中の古い家をたずねて行きますし、足達君以外にも秋田君が、NHK神戸の依頼で防震ダンパー取付の撮影にも協力をしました。撮影や取材に協力するのも、私共が目指している木の香りがする、安心して住める家や職人さんが手をつくして建てる家、メンテナンスや手入れさえ行なっていけば、まだまだ住み続けることが出来る家といったことを広く理解してもらう為です。時間がかかっても、丁寧に仕上げた家には愛着がわいてくると思って、日々努力をしています。

勉強会に行きました 東本願寺

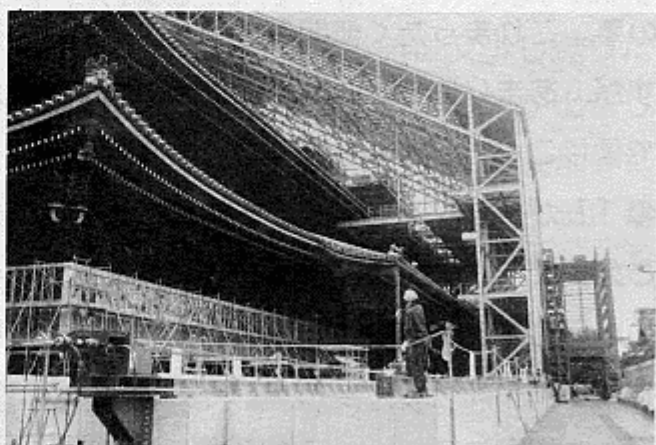
これは、東本願寺 御影堂の屋根瓦ふき替え用の素屋根です。

先日見学会があり、見てきました。

何とこの大きな鉄骨の素屋根がレールの上を動くのですよ。

1日7m動かすそうです。

ビックリです。



編集後記

足達君、たしかにキンチョーしていましたね。よく使うことばがすぐ出なくて、こちらを見て「何でしたかね」と言う目をするので「〇〇や」と言ったり、インタビューでも、少しづつ言う

ことが違ったりと、見ていておかしくなりました。しかし、テレビのディレクターは上手にいますね。けっしておこったり、ケナしたりはせず、うまくおだてて、自信をつけているところを見ると、ア~そうか私もあのように、と思いました。サテ出来るかな。 村上